

市勢の発展に尽くした功績を表彰

本年度の市勢振興功労者に3人が選ばれました。市勢振興功労者表彰は、公共の福祉の増進と市勢の発展に尽くした功績が顕著な人または団体を顕彰するもので、市で最高の荣誉ある表彰です。受賞者は、学識経験者や市議会議員などで構成する

市表彰選考委員会の答申を受けて決定しました。本年度の受賞を含め、これまでに318人と24団体を表彰。本年度の表彰式は11月3日(日)、上田公民館(上田四)で開催します。
【問】総務課☎626-7513【広報ID】1021192



佐々木 弥一さん
Yaichi Sasaki

昭和45年から地区の防犯隊長として活動し、都南地区防犯協会連合会会長、盛岡市防犯協会副会長を務め、地域の防犯対策の推進に尽力。昭和48年に都南村議会議員に初当選し、合併後も盛岡市議会議員として、通算41年9カ月にわたり在職。市民生活の発展に寄与するとともに、安全で安心なまちづくりに大きく貢献した。(昭和9年生まれ・羽場15地割在住)

犯罪と非行から地域を守る

30歳の時に青少年補導員を始めたのがきっかけで、青少年の見守り活動や地域の防犯活動に携わってきました。防犯隊と一体となって岩手飯岡駅前などで、自転車盗難防止の見回りをしながら周辺の学校に通う子どもの様子を確認するなど、防犯と子どもの育成を両立させて取り組みました。平成4年の市と都南村の合併当時は、地域の人口が増えて治安が悪くなるのが懸念されたので、子どもたちへの声掛けや地域ぐるみの見回りなど「犯罪を未然に防ぐ」ことに力を入れました。このような活動を長く続けられたのは、ひとえに地域のみなさんの協力のおかげ。私は今でも地域で子どもを見かけると、声を掛ける習慣を続けています。



伊東 宗行さん
Muneyuki Itoh

市乳幼児総合診査運営委員会発足から現在までの36年間にわたり、乳幼児の障がいの早期発見や早期療育の体制づくりとその定着に尽力。また、地域の医療機関と保育、教育機関の横断的なネットワークを形成し、子どもの療育を総合的に行う体制を構築し、子どもの良好な発達と子育て家庭の安心感の向上に大きく貢献した。(昭和12年生まれ・南大通三丁目在住)

子どもが安心して育つ体制を作る

昭和38年から小児科医師として子どもの医療に携わってきました。昭和58年から盛岡市が始めた、発達に問題があると思われる乳幼児の早期発見・早期療育のための「乳幼児総合診査(もりっこ健診)」に、運営委員として参加。これは、保健や医療、療育、福祉、教育などの専門家が、専門的かつ総合的な診査を行い、その後の療育へとつなげる健診で、全国でも先進的な取り組みでした。最近では、親が子どもの発達障害を心配して受診希望するなど、診査対象の変化を感じています。さらに、そのような子どもたちが、日常生活でも切れ目のない支援を受けられるように、福祉や保育、教育機関とのネットワークなどの仕組みを構築しました。協力してくれた皆さんに感謝します。



齋藤 徳美さん
Tokumi Saito

岩手大工学部の教授として研究を重ね、地域防災と環境学の専門家という立場から、盛岡市環境審議会会長や市国土利用計画審議会委員長、市農山漁村再生可能エネルギー法協議会会長、岩手山火山防災協議会委員など、多くの委員を歴任。市の環境施策の策定や県全体の防災対策に大きく貢献した。(昭和20年生まれ・中太田新田在住)

研究を地域の安全と環境対策へ

昭和53年に岩手大工学部に赴任して以来、地方大学の役割は地域に役立つ研究をすることと考え、岩手大の根本精神である「岩手の大地と人と共に」を実践してきました。研究内容である、盛岡市域の地盤の硬さや地域ごとの揺れの違いなどを市の地域防災計画に反映すると共に、研究者と行政機関、報道機関、住民が連携して地域の安全を守る、岩手山の火山防災体制を構築した「岩手方式」は全国的に評価されました。また、次の世代へより良い環境を引き継ぐために、市の環境やエネルギー施策、土地利用の在り方について取りまとめた「盛岡市環境基本計画」などを策定したことは忘れがたいです。これからも市の発展に役立てるよう微力を尽くします。

今年度の特定健診

【問】健康保険課☎626-7527 【広報ID】1024554

市の国保に加入し、本年度の特定健康診査や人間ドックを受診していない40歳から74歳までの人を対象に、集団健診を実施します。10月までの実施期間に特定健診を受けられなかった、平日には健診に行けない——という人は、この機会をお見逃しなく!

【日時】12月8日(日)9時~11時
【場所】予防医学協会(北飯岡四)
【定員】60人
【費用】無料※郵送した受診券を持参
【申し込み】11月7日(木)10時から健康保険課で先着順に電話受け付け

検査項目

- ▶問診(服薬歴・喫煙習慣など)
- ▶計測(身長・体重・腹囲・血圧)
- ▶血液検査(中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール・肝機能・血糖・貧血・クレアチニン・尿酸など)
- ▶尿検査(尿糖・尿タンパク)
- ▶心電図
- ▶眼底検査(該当者のみ)

内臓脂肪型肥満(メタボ)や高血圧、糖尿病、貧血、心疾患、肝疾患、腎疾患、痛風などが調べられます

乳がん検診と子宮頸がん検診も同時に受けられます

【時間】9時~11時
【定員】各検診30人
【対象】乳がん検診:40歳以上。子宮頸がん検診:20歳以上
【費用】成人検診受診券に記載
【申し込み】11月7日(木)10時から健康増進課☎603-8306で先着順に電話受け付け

乳がん検診と子宮頸がん検診は、来年3月13日(金)まで指定医療機関で実施中。市の国保に加入していない人でも、勤務先などでがん検診の機会がない場合は受診できます!

「異常なし」でも気を付けて!

手紙が届いた今がチャンス!

サンサンチャレンジ

【問】健康増進課☎603-8305 【広報ID】1003583

特定健康診査や国保人間ドックの結果、生活習慣病の予防が必要な人に、食事や運動などの生活習慣の改善に取り組む「サンサンチャレンジ」の利用券を送付。生活習慣病の発症や心臓病などの重い病気につながらないよう、専門スタッフがサポートします。費用は無料です。



今からできる、無理なくできる健康づくりを考えてみませんか? 利用券が届いたら、健康増進課へ電話で申し込みを!

チャレンジの対象者

市の国保に加入している40~74歳の人で、特定健康診査などの結果が次の人が対象です。

- 腹囲
 - ・男性85cm以上
 - ・女性90cm以上
- または
 - ・BMI 25以上
- +
 - ・血糖が高め
 - ・血圧が高め
 - ・脂質に異常あり(一つ以上該当)
- +
 - 喫煙習慣あり
- =
 - 対象者

BMI = 体重kg ÷ 身長mの2乗
計算例: 身長160cmで体重70kgの人
BMI = 70 ÷ 1.6 ÷ 1.6 = 27.3

体格	やせ	正常域	肥満
BMI値	18.5未満	18.5以上 25.0未満	25.0以上

受けてよかった!

参加者の声

食事やおやつを減らし、ウォーキングに力を入れています。最近体重が緩やかにマイナスに! ウエストもパンツサイズが下がりました。これからも継続します。(60代女性)

参加したことで、ご飯の量や間食、ウォーキング時間、運動などを意識するようになりました。毎日入浴前と起床後の体重を確認するのが励みになっています。(60代男性)

チャレンジに参加

生活習慣改善の必要性の度合いによって、2つのクラスに分かれます。

ひまわりクラス 積極的支援

生活習慣を改善する必要性が高い人

よつばクラス 動機付け支援

生活習慣を改善する必要性が中程度の人

